



京都府教育振興プラン  
学校教育の重点  
(京都府・与謝野町)

児童の実態  
保護者・地域の願い

【学校教育目標】  
**チャレンジする 岩滝の子(岩チャレ)**  
～「時間を守って行動」「プラスの言葉」「よく聞いて学習」～

【めざす姿】

<p><b>学校像(学校力向上)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの学ぶ意欲を引き出し学ぶ楽しさが実感できる授業づくり</li> <li>・子どもの自己肯定感を高め、主体的に取り組む力の育成</li> <li>・子どもが安心して生活し、保護者や地域から信頼される学校づくり</li> </ul>	<p><b>子ども像(非認知・認知能力育成)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人の話を正しく聞き、解決しようとして一生懸命考えたり表現したりできる子</li> <li>・互いのよさを認め合い、人のために働く子</li> <li>・苦手なことにも挑戦し、ねばり強く努力する子</li> </ul> 	<p><b>教職員像(実践的指導力の育成)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・確かな授業力と高い生徒指導力をもった教職員</li> <li>・互いに支え合い学び合う姿勢をもった教職員</li> <li>・学校経営への参画意識と組織マネジメントの力をもった教職員</li> </ul> 
--	--	--

家庭や地域への情報発信と受信・関係機関や外部人材との連携

<p><b>就学前教育との連動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○発達や学びの連続性を踏まえた保幼との連携強化</li> <li>○スタートカリキュラムの実践と評価・改善</li> </ul>	<p><b>特別支援教育</b></p> <p>小学校段階から <b>社会的自立を見据える!</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○専門家等も含めたアセスメントの実施</li> <li>○教職員間での個別の教育支援計画・指導計画等の内容共有</li> <li>○個々の障害や特性に応じた指導・支援の充実</li> <li>○進路を見据えた就学指導</li> <li>○丁寧な保護者連携の継続</li> </ul>	<p><b>生徒指導・教育相談</b></p> <p><b>魅力ある学校(学級)づくりを!</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○非認知能力(目標に向かう・他との関わり・感情のコントロール)の伸長を目指した行事・取組を仕組む。</li> <li>○いじめや不登校の未然防止・早期発見・早期対応</li> <li>○関係機関との連携による育み</li> </ul>
<p><b>学力の充実</b></p> <p><b>主体的・対話的で深い学びを!</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○個々の学力課題分析を基にした(ベクトルを揃えた)学力向上の取組</li> <li>○主体的な学びを意識した家庭学習についての指導</li> <li>○低学年期の学級経営・学習指導の充実(QU活用)</li> <li>○指導のねらいを明確にした学習活動や単元設定の工夫(児童の理解で自己評価)</li> </ul>	<p><b>道徳教育</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○重点内容項目等を意識した具体的実践の工夫</li> <li>○授業づくりと評価の在り方に係る研修の実施</li> <li>○道徳的実践力を育てる教育活動</li> </ul>	<p><b>人権教育</b></p> <p><b>社会的自立の基盤となる基礎学力の定着</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○児童の自尊感情や自己有用感を高める取組の展開</li> <li>○同和教育の成果・手法に係る研修</li> <li>○プラットフォームとしての学校の機能強化(関係機関との連携)</li> </ul>

橋立中学校区のめざす子ども像の共有と連携

学校評価

- ・児童アンケート(学級満足度調査年間2回、いじめ調査年間2回、振り返り毎学期)
- ・保護者アンケート(年間1回) ・民生委員との連絡会議(年間1回) ・学校評議員会(年間2回)
- ・安心・安全ネットワーク会議(年間3回)
- ・授業参観、懇談会 ・教職員による自己評価(年間2回)